

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	土地 955.28㎡	207,970,000	9,890,000	0	217,860,000
	建物 603.55㎡	10,126,271	0	641,297	9,484,974
	債券	51,834,000	0	0	51,834,000
	基本財産計	269,930,271	9,890,000	641,297	279,178,974
特定資産	土地取得資産	12,000,000	0	11,330,358	669,642
	建物建設資産	20,448,923	0	0	20,448,923
	茶華道文化普及基金	6,613,310	0	0	6,613,310
	特定資産計	39,062,233	0	11,330,358	27,731,875

※基本財産の土地増加、土地取得資産の減少は、土地購入による。

(記載上の留意事項)

- ・基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載をしている場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。
- ・重要な増減がある場合には、その理由、資産の種類具体的な内容及び金額の脚注をするものとする。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給与引当資産	4,213,833	188,562	0	0	4,402,395

(記載上の留意事項)

- ・期首又は期末のいずれかに残高がある場合にのみ作成する。
- ・当期増加額と当期減少額は相殺せずに、それぞれ総額で記載する。
- ・「当期減少額」欄のうち、「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、その理由を脚注する。
- ・引当金について、財務諸表の注記において記載している場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。